

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		市道整備改良事業		担当課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間
	施策	道路網・公共交通体系の整備		種別
	基本事業	未改良道路の整備		市民協働
予算科目コード		01-080202-01 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 4m未満の市道を拡幅改良し，車両交互通行及び道路排水の改善を図る為に用地買収，補償，設計，工事を計画的に実施する。
道路の拡幅改良整備を求める意見や要望に対応するため。（排水施設含む）	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
生活に密着した道路を拡幅整備することにより，緊急車両を円滑に通過させるとともに，交通の利便性及び居住環境の向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
歩行者・自転車・自動車が快適に通行できるよう，生活道路の整備を進める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
生活道路の拡幅要望が多くあり，予算も限られていることから，整備効果等検討し，優先順位を定め計画的に整備していく必要がある。	4～6月 要望書の整理 7～9月 着手可能路線の調査 10～1月 整備計画作成
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
現在ある拡幅要望を基に，財政計画を見据えた整備計画を立てる。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	次年度は，今年度に引き続き，株式会社前川前（市道211号線）の道路を重点的に行う。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度を取組（評価、課題への対応）
限られた予算で要望箇所在市道整備を計画的に進めた。	要望箇所のうち、優先順位の高い路線の整備を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
道路改良率（道路台帳総括表）（％）	67.85	69.45	69.75	70.70	71.70
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	市道整備により、交通安全の確保及び住環境の向上が図られた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	引き続き、株式会社前川前(市道2 1 1 号線)と新守谷駅進入路(市道6 0 0 9 号線)の整備をする。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	114,998	136,187	156,255	405,411	455,400
	国・県支出金	0	0	1,147	58,375	58,375
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	25,511	53,051	64,974	0	0
	一般財源	89,487	83,136	90,134	347,036	397,025
正職員人工数（時間数）		2,713.00	3,629.00	3,544.00	0.00	0.00
正職員人件費		11,123	15,151	14,541	0	0
トータルコスト		126,121	151,338	170,796	405,411	455,400